

開催報告：国際実務研修

■実施概要

期間：2012年4月13日(金)～20日(金)

会場：西鉄イン福岡(研修)、アクロス福岡(フォーラム)

受講者(敬称略)：

□海外：6名

- ・Urmi Buragohain(オーストラリア)
- ・Niels Kranenburg(オランダ)
- ・Rick de Lange(オランダ)
- ・Candy Rosmarin(オーストラリア)
- ・Britta Vestergaard(デンマーク)
- ・Neeltje van den Boogaard(デンマーク)

□国内：7名

- ・田中豊久(福岡：福岡市)
- ・中村晋太郎(福岡：福岡市)
- ・渋谷諭(福岡：福岡地所)
- ・高木圭一郎(福岡：九州旅客鉄道)
- ・淵脇晃(福岡：九州旅客鉄道)
- ・小泉邦亮(福岡：九電工)
- ・大石和也(福岡：西日本鉄道)

主催：福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka Directive Council)

共催：欧州都市デザイン研究所(Stadslab)

後援：国土交通省 オランダ王国大使館 国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当)
We Love 天神協議会 天神明治通り街づくり協議会 博多まちづくり推進協議会

■研修の趣旨

テーマ：「魅力的な場づくり/Placemaking」

目的：

- ・地域戦略検討への国際的な知恵の投入による都市開発戦略案の作成
- ・国際的実務家との協働作業を通じた OJT による地域戦略の担い手人材の育成
- ・成果と過程を市民、九州、全国、世界に発信することによる PRs

期待される成果：

- ・都市再生部会における都心再生フレームワーク構築の検討土台
- ・これからの福岡の地域戦略推進を担う人材の育成
- ・日本のみならず世界各地への福岡の発信

プログラム：

日時	プログラム
4月14日(木)	<p>■19:00-21:00 ウェルカム・レセプション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：リバレイン カフェオットー ・参加者：講師、運営スタッフ、受講生
4月13日(金)	<p>■9:30-13:30 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明：Marc Glaudemans(Stadslab) ・FDCの概要：後藤太一(FDC) ・専門家ワークショップの概要：John Mader(FDC)

	<p>■14:30-19:30 現地視察</p> <p>・ルート:アクロス→明治通り→天神駅→天神地下街→きらめき通り→警固公園→西鉄駅+バスターミナル→イムズ→パサージュ広場→国体道路→春吉橋→キャナルシティ→駅前通り→博多駅南西街区→博多シティ</p>
4月14日(土)	<p>■9:00-11:30 講義</p> <p>・日本の都市開発の現状:藍谷鋼一郎(九州大学)</p> <p>・福岡市の都市計画:田中豊久(福岡市)</p> <p>■11:30-19:30 現地視察</p> <p>・ルート:サンパレス→国際センターベイサイドプレイス→西戸崎→海の中道→アイランドシティ→香椎パークポート→箱崎埠頭→国際旅客船ターミナル→マリンメッセ→ピアトンネル→須崎公園→競艇場→須崎埠頭→漁港→市場会館</p>
4月15日(日)	<p>■9:00-20:00 デザインスタジオ</p>
4月16日(月)	<p>■9:00-18:00 デザインスタジオ</p> <p>■18:00-20:00 中間発表</p>
4月17日(火)	<p>■9:00-10:00 講義</p> <p>・福岡のプロモーションとプレイスメイキング:ニック・サーズ(福岡ナウ)</p> <p>■10:00-17:00 デザインスタジオ</p> <p>■17:00-19:00 オープンレクチャー</p> <p>・公共空間のデザインと都市再生:Saline Verhoeven(Bureau B+B)</p>
4月18日(水)	<p>■9:00-15:30 デザインスタジオ</p> <p>■15:30-17:00 中間講評会</p> <p>■17:00-19:00 シンガポールの都市再生と成長戦略 :Andrew David Fassam(シンガポール都市開発庁)</p>
4月19日(木)	<p>■9:00-17:30 デザインスタジオ</p> <p>■17:30-20:00 中間発表</p>
4月20日(金)	<p>■9:00-15:30 デザインスタジオ</p> <p>■16:00-18:00 都市開発戦略フォーラム</p> <p>・場所:アクロス福岡円形ホール</p> <p>■19:00-21:00 フェアウェルパーティ</p> <p>・場所:イムズ HAKATA ONO</p> <p>・参加者:講師、運営スタッフ、受講生、フォーラム参加者</p>

■広報

雑誌

- ・新建築 2012年2月号
- ・ACROS 2012 April号

ウェブサイト

- ・福岡地域戦略推進協議会:<http://www.fukuoka-dc.jp>
- ・Stadslab:<http://www.fontyshogeschoolvoordekunsten.nl/Stadslab.aspx>
- ・新建築 Digital Information:
http://www.japan-architect.co.jp/jp/download/item/SK1202_214220_information.pdf

■都市開発戦略フォーラム概要

日時:4月20日(金) 16:00-18:00

場所:アクロス福岡 円形ホール

都市開発戦略フォーラムのプログラム構成:

- 1 はじめに:国際実務研修の目的 後藤太一(福岡地域戦略推進協議会)
- 2 国際実務研修の概要と都市再生の基本方針 M.グロードマンズ(Stadslab)
- 3 都市再生に向けたウォーターフロントの開発戦略 A.ファッサム(シンガポール都市開発庁)
- 4 都市再生に向けた福岡都心部の公共空間デザイン S.ヴェルブン(Bureau B+B 取締役)
- 5 結論とこれからの課題 M.グロードマンズ(Stadslab)

参加者:

- ・一般参加者:82名
うち、FDC 会員 62名、その他は会員の紹介およびゲスト
- ・講師/スタッフ:14名
- ・受講者:12名

■研修の成果概要

Stadslab は都市開発のコンサルタント機能を担うと共に、国際実務研修と呼ばれる教育プログラムも実施している。国際実務研修では、国際的な講師の指導の下、実務専門家が自らの経験と職能を活かして都市開発戦略を策定するプログラムである。

本日のフォーラムでは、都市開発提案やコンセプトデザインなどといった 8 日間わたる研修の成果を発表する。昨年 6 月に実施された専門家ワークショップで提案された 5 つの原則と 3 つの戦略が福岡の将来の都市開発戦略を定義する上での基礎となっている。また、高島市長へ表敬訪問した際に伺った福岡の 3 つの資産も提案に盛り込んでいる。

[市長に伺った福岡の 3 つの資産]

- Food/食
- Festivals/祭
- Compact City/コンパクトシティ

本日のプレゼンテーションは、福岡の経済を国際化し、国際競争力を強化することによって経済成長を促進するという FDC の経済開発戦略を補完する都市開発戦略とはどういったものなのか、ということ初めて示すものである。この成果は、今年度設置予定の FDC の都市再生部会で具体的なプロジェクトを検討していく中で、検討の土台となることが期待される。

今回の研修の成果で鍵となる点は、現在の競艇場を新たな交通結節のハブとして開発するという点である。この地区は、これまで見落とされてきた最も重要な戦略的な場所であると言え、さらに今回参加した都市デザイナーや建築家は、この場所が都市の再生には欠かせない重要な場所であり、ここをトリガーとして都市再生が始まることを確信している。今回、「Suzaki Harbour/スザキハーバー」と名づけたこの場所は、いわば福岡の都市再生のヒンジである。現在の都心部を博多湾岸まで拡張することで、ウォーターフロントの開発がより魅力的でかつ経済的に実現性の高いものとなると言える。現在、福岡の都心はウォーターフロントとうまく接続されていない。けれども、この地区では、第二期展示場や新たな国際フェリーターミナルの開発などが計画されている。これらのプロジェクトの成功は、都心とウォーターフロントとの一体化にかかっている。今回、我々は国内フェリーターミナルを「スザキハーバー」へと移設し、近くに新たなバスターミナルを建設することで、新たな交通ハブを創ることを提案している。

この競艇場エリアをより戦略的な場所としている理由のひとつは、その位置にある。ここは、天神交差点から 1 キロ以内にあり、交差点から見ることができる。また河口部に位置しており、天神、中洲、博多をつなぐ河川沿いのオープンスペースの軸線上に位置する。

他の理由からもこの場所が戦略的である理由が説明できる。それは、この場所が都心のエッジに位置しており、新たな開発を行ううえで、十分な面積の土地があるという点である。都心近くのこのような土地は、必然的に国内のみならず、海外からの投資を呼び込むであろう。今日、発表するコンセプトは、公共空間の特徴や質に焦点を当てている。しかし、いうまでもなく、このエリアで、新たな都市開発も十分に起こりえる。そして、その都市開発は、FDC の経済開発の戦略と密接に関連しているべきである。たとえば、食に関連する産業を促進するための戦略としては、新たなレストラン・コンプレックスやマルシェ・市場などが挙げられる。また、経済成長のもうひとつの牽引役としての観光や MICE を促進するという経済戦略の受け皿ともなりえるだろう。新たなホテル開発などで投資を呼び込むことも十分にありえる。しかしながら、今回の提案では、福岡の市民に質の高い空間をさまざまな形で提供することに重点を置いており、今回のデザインコンセプトでは、新たな住宅開発や水際の遊歩道(プロムナード)、公園、文化施設などに重きを置いている。それは、これらの施設をウォーターフロントに再配置し、世界的なウォーターフロントシティとしての道筋の第一歩とするためである。

このヒンジ部分の開発を促進することによって、専門家ワークショップで示された都市開発戦略が実施され、市長が述べられた福岡の資産も十分に活用される。たとえば、この場所における新たな住宅開発は、郊外ではなく、都心近隣で質の高い居住環境を実現することによって、コンパクトシティとしての福岡の良さをより強めるものである。都心への近さは、それ自体が環境的な持続可能性を高めるものであり、FDC が掲げる環境への取り組みと親和性が高いと言える。

その中で、極めて重要なことは、都心とウォーターフロントを、歩行者を重視した空間で接続することである。都心から博多ふ頭へのアクセスを改善するために、都市高速下の橋梁の撤去を含み、博多ふ頭と都心の接続を改善するべきである。渡辺通りは北側へ延伸され、都市高速のランプから切り離された心地よい街路として整備されるべきである。この街路は、最終的に、20年から30年にわたる再開発とあわせて、須崎ふ頭の先まで延伸されるだろう。須崎公園の南側からキャナルシティまでのリバーフロントの拡張は、都心とウォーターフロントに沿った新たな開発エリアを結び、切れ目の無い(シームレスな)歩行者のネットワークと視覚的な繋がりをデザインすることによって改善される。

本日の提案には、福岡の将来の都市開発における明確なマスタープランは含まれていない。マスタープランは、公な議論を刺激し、将来の成長の性質や方向に対してのビジョンを定義するためにある。FDC のこれまでの取り組みの基礎にあった原則は、都市開発は経済開発を支える受け皿であるべきだというものであった。FDC の経済開発の専門家は、将来の福岡の経済の鍵となる分野や戦略をこれまで明らかにしてきた。そして、今日、都市開発の専門家が、建物や街路、公園、地区、住環境といった、将来の都市開発の鍵となる場所やその質について明らかにした。我々は、この提案が、行政、民間企業、市民を巻き込んでの「明日の福岡はどんな都市になるべきか」とう議論のきっかけとなることを期待する。

■ 質疑

主なコメント:

- ・私は都市開発の専門家では無いが、皆さんの提案はとても論理的で説得力がある。(豪州総領事)

■ 研修の様子

デザインスタジオ



現地視察



都市開発戦略フォーラム



■アンケート結果

回答者数:14名

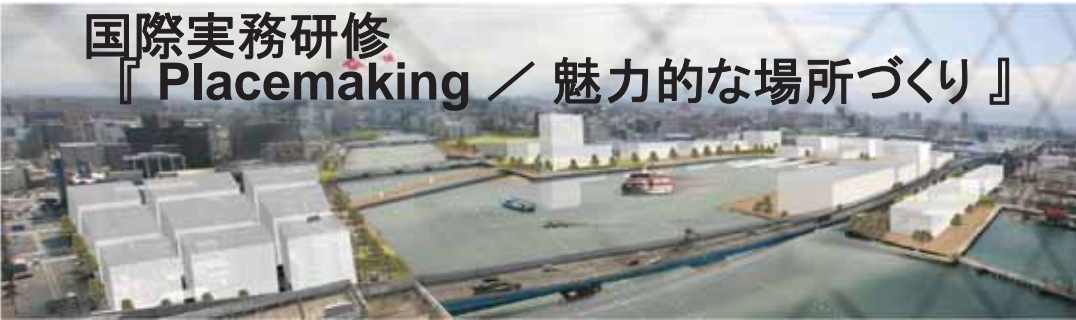
主な意見:

- ・福岡の都心をよく分析されていたと思う。
- ・外から見るとやはりウォーターフロントに開かれていないことが明確なのだと思う。
- ・次回の交通も是非拝聴したい。アクセスに関して提案してほしいのは短期・中長期での考え方でとらえてほしいことと、その時の開発の進め方も併せて教えてほしい。
- ・サンパレスをこわしても都市高速で船が見えないので、ロジカルにする意味で交通での議論を期待している
- ・天神からも海が見える工夫がほしかった。せつかく渡辺通りを直線化するので、そういう提案もあればよかった。
- ・都市空間の提案がメインであったと感じた。質問にもありましたが、実際それを利用する人物像やアクティビティが見えるとより提案がかがやくと感じた
- ・キーワードに「水辺」がある都市は、水不足に悩まされた福岡が水を大切に思う「想い」を取り入れるという意味でもとても良いものだと感じた。
- ・都市の価値をあげることがどういうことか考え方を聞いたことが大変良かった
- ・災害(自然・犯罪等)面についても事例や考え方が聞けると良いと思った。

■講師およびスタッフ

		
講師:Saline Verhoeven サリーヌ・ヴェルブレン ランドスケープアーキテクト/ アムステルダム Bureau B+B 取締役	講師:Andrew David Fassa アンドリュー・デイビッド・ファッサム 都市デザイナー/シンガポール シンガポール都市開発庁(URA) 都市計画・デザイン部ディレクター	統括・監修:Taichi Goto 後藤 太一 都市計画家/福岡 福岡地域戦略推進協議会 事務局長
		
統括・監修:Marc Glaudemans マーク・グロードマンズ 建築家/アムステルダム 欧州都市デザイン研究所 (Stadslab)所長	統括・監修:John Mader ジョン・メーダー 建築家/東京 Lend Lease Japan シニアプロジェクトマネージャー 福岡地域戦略推進協議会ディレクター	統括・監修:Ko Aitani 藍谷 鋼一郎 建築家/福岡 九州大学 人間環境学研究院 都市建築学部門 特任准教授

国際実務研修 『Placemaking / 魅力的な場所づくり』



～福岡都心の魅力的な場所づくり～

2012.4.20

福岡の将来像

東アジア(日本、中国、韓国、台湾)におけるビジネスハブ



福岡の戦略

交流の活性化により質を重視した成長を図る

成長の源泉の再構築

- 人材の多様性を強化する
- 革新的・創造的な交流の場をつくる
- 域外に向けて挑戦する

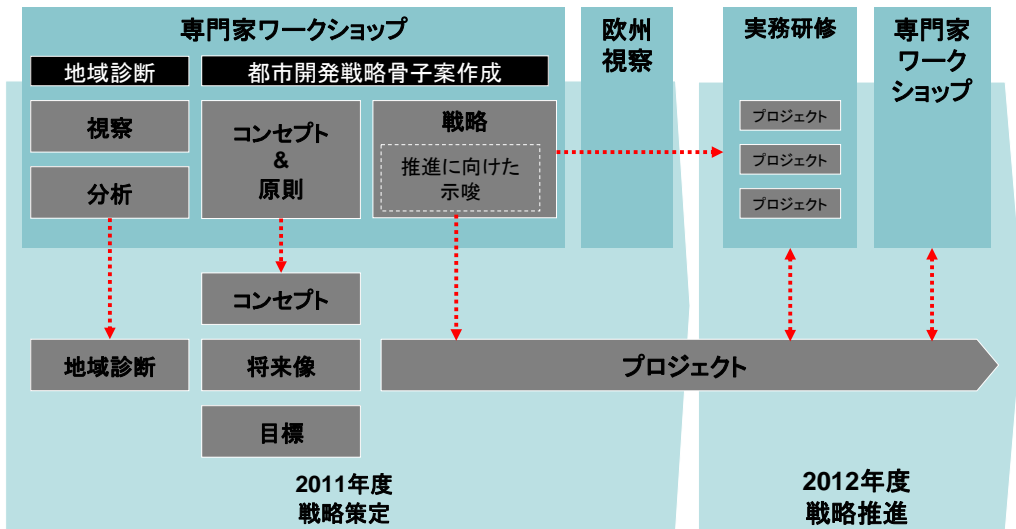


福岡の都心

国内・外のパートナーと取り組む都市再生



プログラムの構成



国際的な専門家チーム

The international expert team consists of the following members:

- レイナー・クリンス** (Lainer Krins): 欧州都市デザイン研究所 (Stadslab) プログラム コーディネーター
- サリーヌ・ヴェルブン** (Sallyne Verbeun): ランドスケープ建築家 / B+B取締役
- マーク・グロードマンズ** (Mark Grodzmans): 欧州都市デザイン研究所 (Stadslab) 所長
- アンドリュー・ファッサム** (Andrew Fassam): 都市デザイナー / シンガポール都市開発庁 都市計画・デザイン部 ディレクター
- ジョン・メーダー** (John Meader): 建築家 / Lend Lease Japan シニア プロジェクトマネージャー / 福岡地戦略推進協議会 ディレクター
- ヴァレリア・カッパ** (Valeria Cappa): 九州大学 人間環境学研究院 都市・建築部門 特任准教授
- トニー・ヴァン・デル・グラーフ** (Tonny van der Graaf): 交通プランナー / RVDB/Lightrail.nl 創立者
- 佐藤 太一** (Sato Taichi): 福岡地域戦略推進協議会 事務局長

欧州都市デザイン研究所 (Stadslab) の研修実績



使命

一貫性のある、持続可能な、成長する都市環境の創造のために都市や地域に対し、都市デザインの専門的知識を提供すること



実施手法

- 建築、設計・デザインの実務家のための実務研修
主催地域の空間的な課題に関するプロジェクト
- 国際的な専門家や教授の活用
- 地元との協働



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratories

成果

- 都市に対する出来合いではない解決策
- 将来の開発を見据えた概念的枠組み
- 都市計画の筋書き(シナリオ)
- 実施のための最先端の知見と専門的知識
- 都市の潜在力や向上力の国際的評価



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratories

国際実務研修参加メンバー

受講生:

- Urmi Buragohain (オーストラリア)
- Niels Kranenburg (オランダ)
- Neeltje van den Bogaert (オランダ)
- 渋谷 諭 (日本)
- Candy Rosmarin (南アフリカ)
- Britta Vestergaard (デンマーク)
- Rick de Lange (オランダ)

地元(福岡)のパートナー:

- 田中 豊久(福岡市)
- 中村 晋太郎(福岡市)
- 小泉 邦亮(九電工)
- 淵脇 晃(JR九州)
- 高木 圭一郎(JR九州)
- 大石 和也(西鉄)

講師:

- アンドリュー・ファッサム(シンガポール)
- サリーヌ・ヴェルブン(オランダ)

スタッフ:

- マーク・グロードマンズ(Stadslab/オランダ)
- レイナー・クリンス(Stadslab/オランダ)
- 後藤 太一(福岡DC)
- ジョン・メーダー(福岡DC)
- 榎本 拓真(福岡DC)
- 藍谷 銅一郎(九州大学)



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratories



Fukuoka D.C.

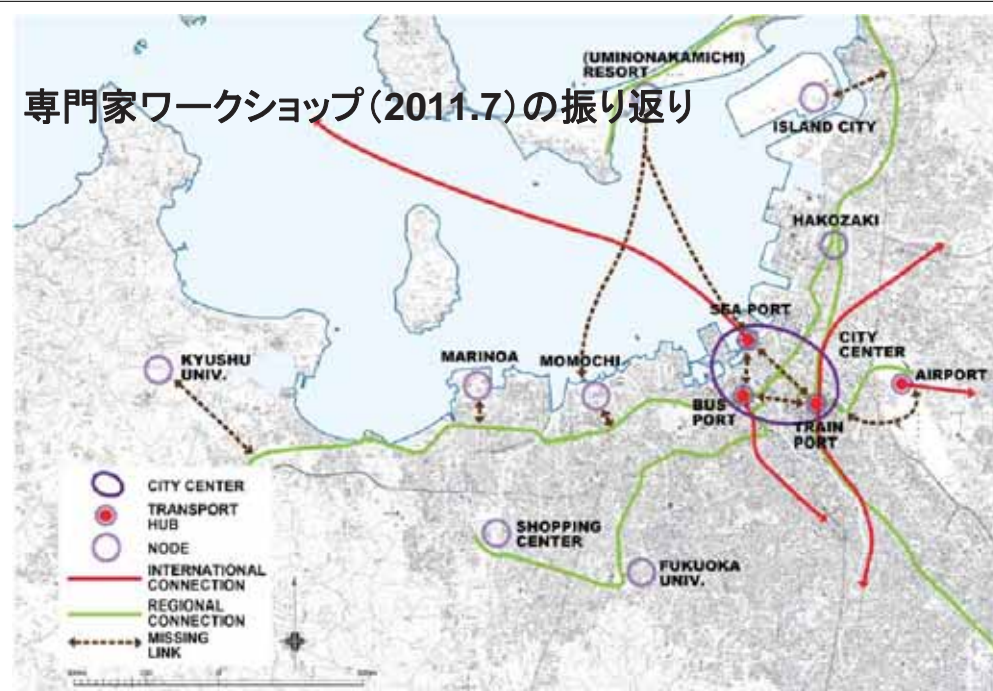
Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratories

アジアの玄関口



専門家ワークショップ(2011.7)の振り返り

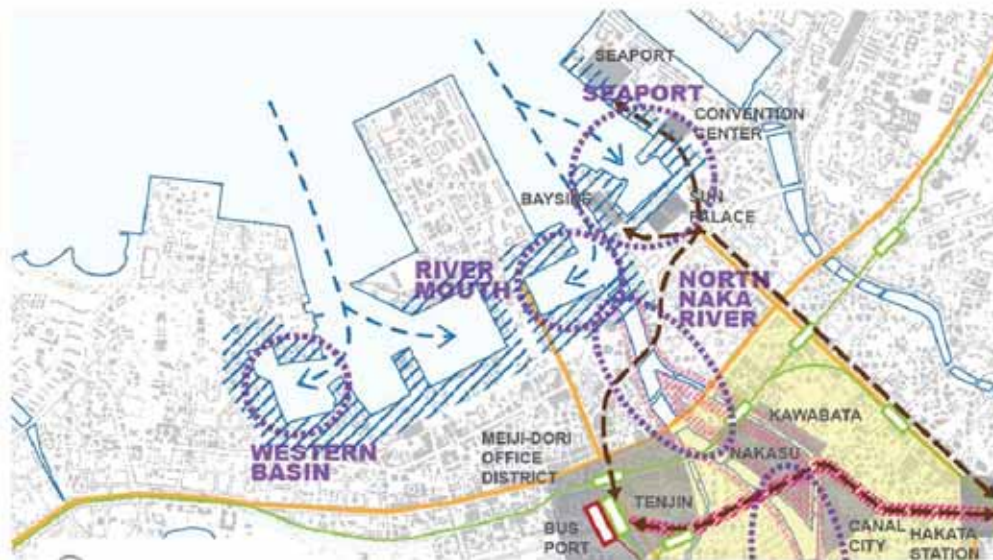


専門家ワークショップ(2011.7)の振り返り

Five Principles (5つの原則)

- 1 Connectivity (つながり)
- 2 Accessibility (辿り着きやすさ)
- 3 Legibility (分かりやすさ)
- 4 Imageability (イメージの湧きやすさ)
- 5 Walkability (歩きやすさ)

専門家ワークショップ(2011.7)の振り返り



専門家ワークショップ(2011.7)の振り返り

Three Strategies (3つの戦略)

- 1 Strengthening connections
(交通ネットワークの強化)
- 2 Improving City center
(都市の中心部の改良)
- 3 Activating the Waterfront
(ウォーターフロントの活性化)



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
european urban design laboratory

質の高さ

食

祭り

コンパクトな都市



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
european urban design laboratory

stadslab
european urban design laboratory

Smart Fukuoka
www.stadslab.eu

実務研修プログラム Fukuoka 2012

- 福岡のウォーターフロントの活性化 (2012.4.13-20)
専門家: アンドリュー・テイビット・ファッサム
(シンガポール都市開発庁
都市計画・デザイン部ディレクター)
- 福岡都心部のプレイスメイキング(場の創造) (2012.4.13-20)
専門家: サリーヌ・ヴェルブ
(B+B取締役、ランドスケープ建築家)
- 都市交通とモビリティ (2012.10.5-12)
専門家: ロブ・ヴァンデルヴァイル (RVDB/Lightrail. nl創業者)

統括プログラムアドバイザー: ジョン・メーダー
(福岡DC、Lend Lease Japan)

Fontys
www.fontys.nl
Fukuoka D.C.

Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
european urban design laboratory

ウォーターフロントシティとしての福岡



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
european urban design laboratory

ハーフェンシティ(ドイツ・ハンブルク)



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



ジェノヴァ(イタリア)



航空写真:
修復された建物、新しい水族館、海岸やピゴ(展望室)に沿った道路
Ph. Pubifoto
Pubifoto

Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory

既存の計画

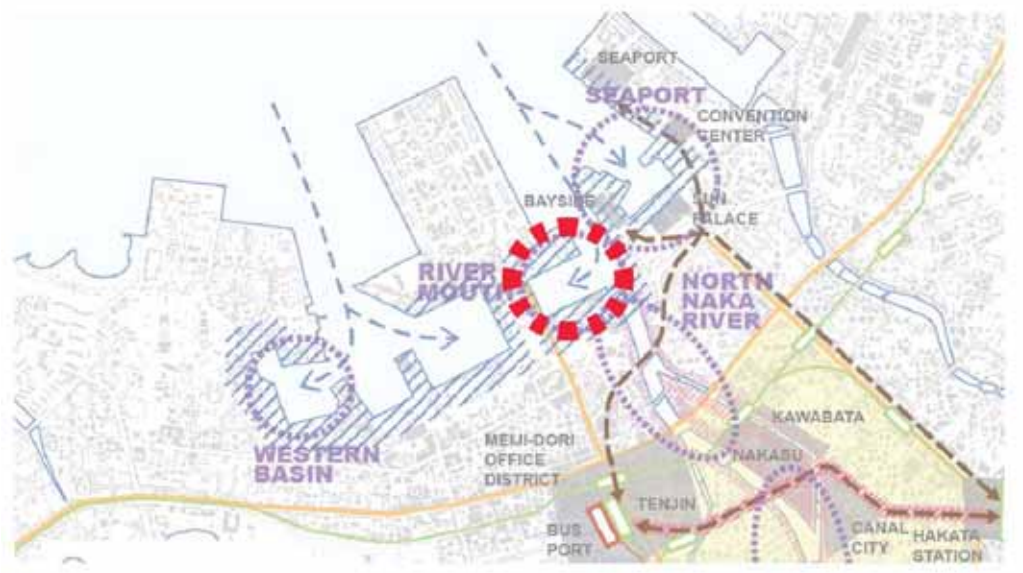


Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory

焦点



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory

競艇場



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban urban design laboratories



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban urban design laboratories

競艇場を移転し、国内旅客ターミナルを移設

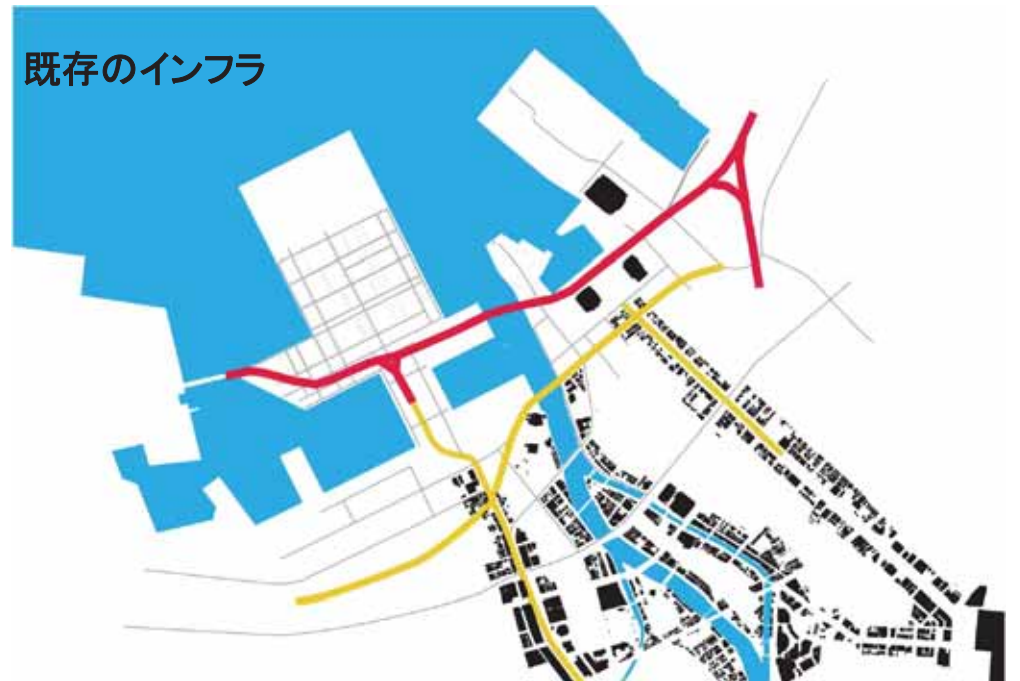


Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban urban design laboratories

既存のインフラ

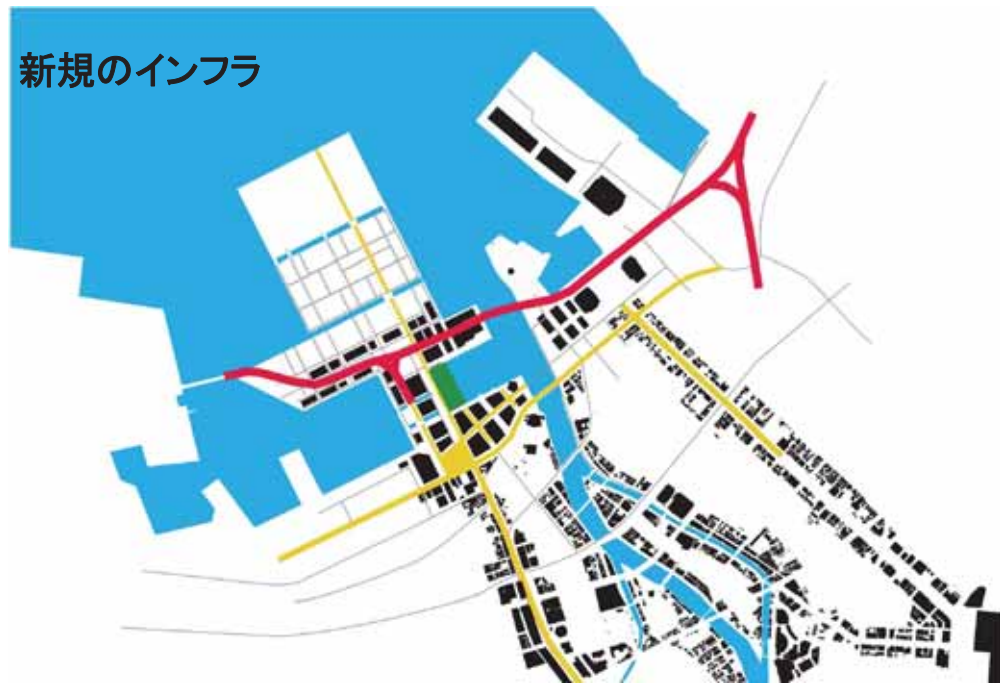


Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban urban design laboratories

新規のインフラ



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban urban design laboratory

プラン



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

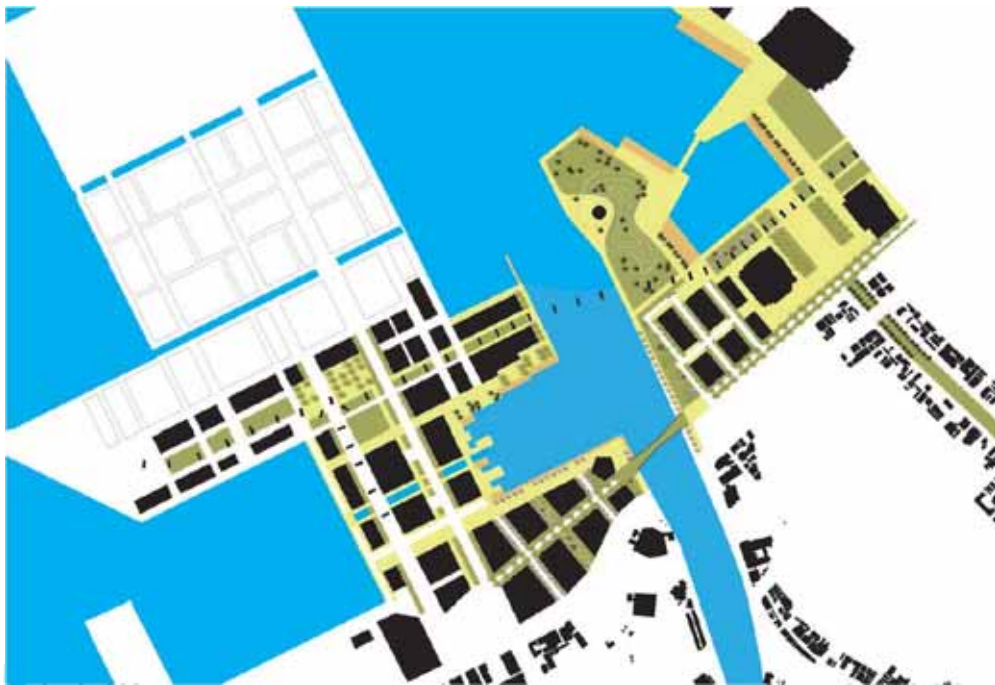
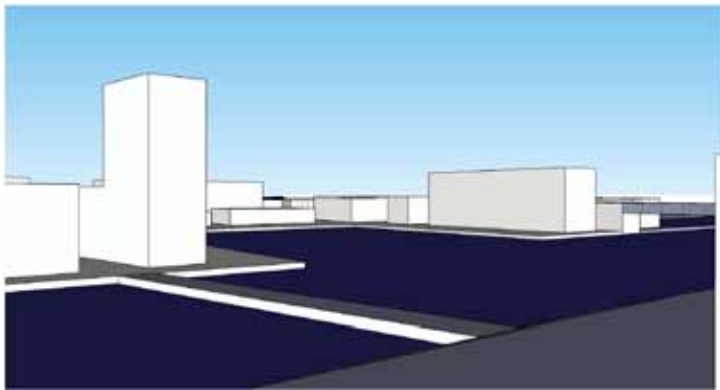
stadslab
urban urban design laboratory



Fukuoka D.C.

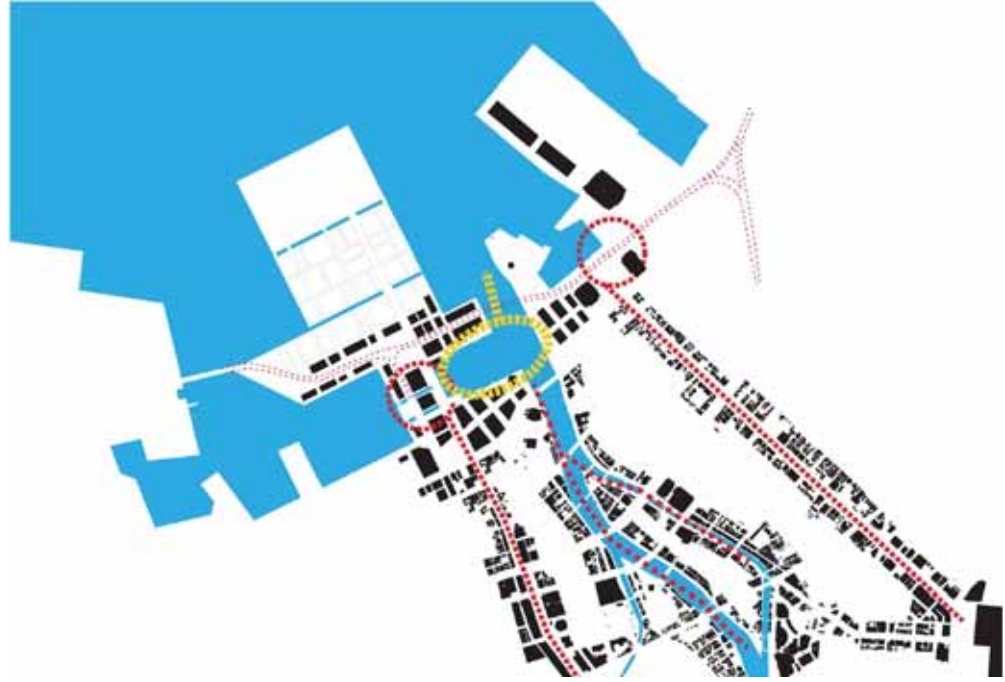
Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban urban design laboratory



利用用途

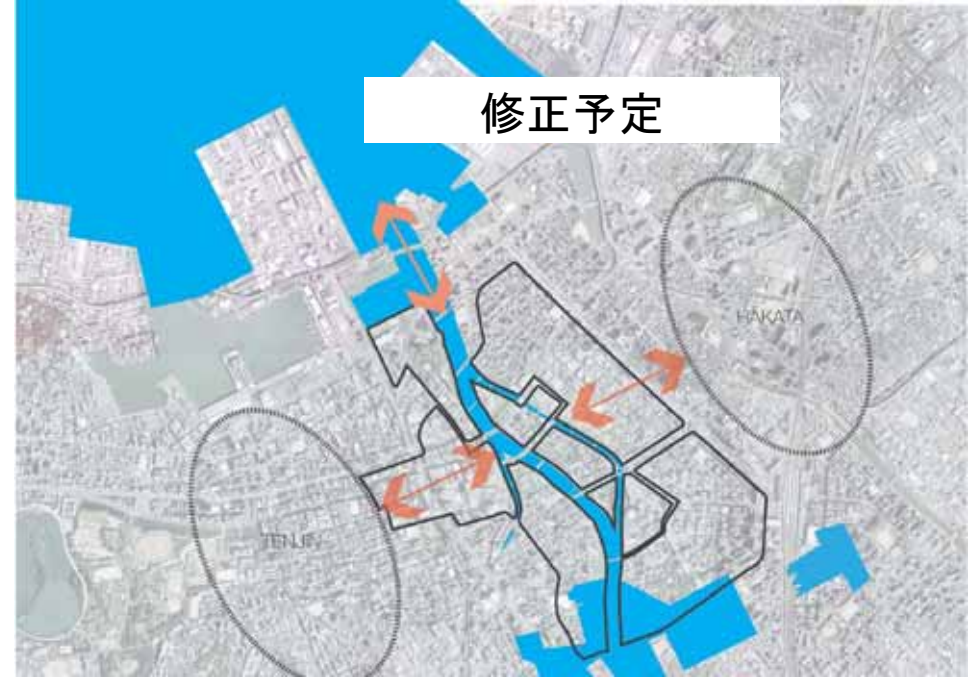




Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

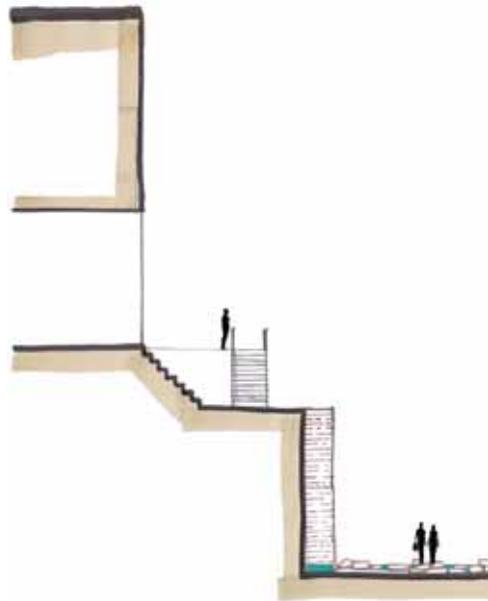
stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

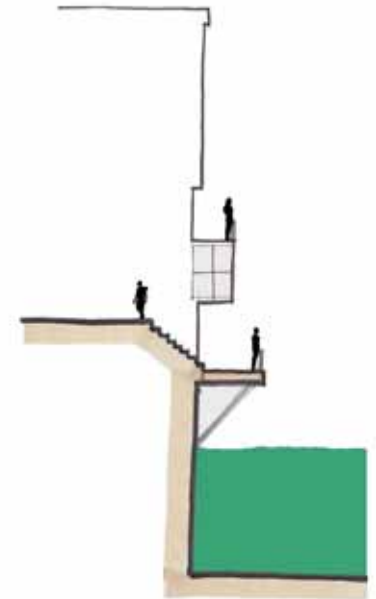
stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

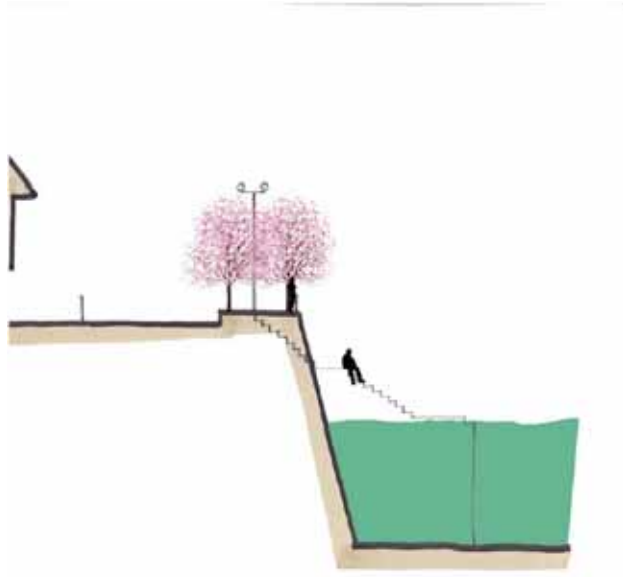
stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

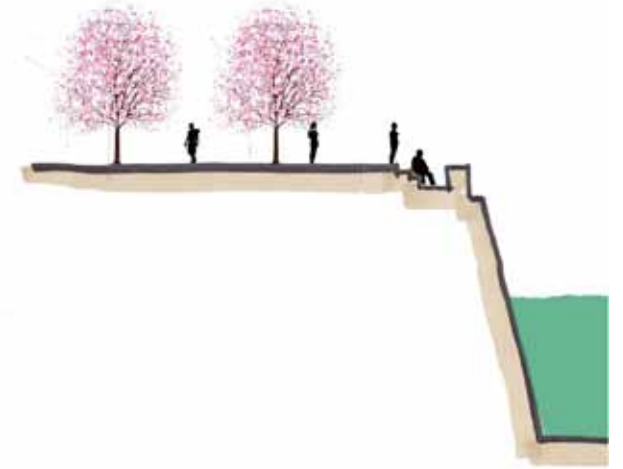
stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stads**lab**
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

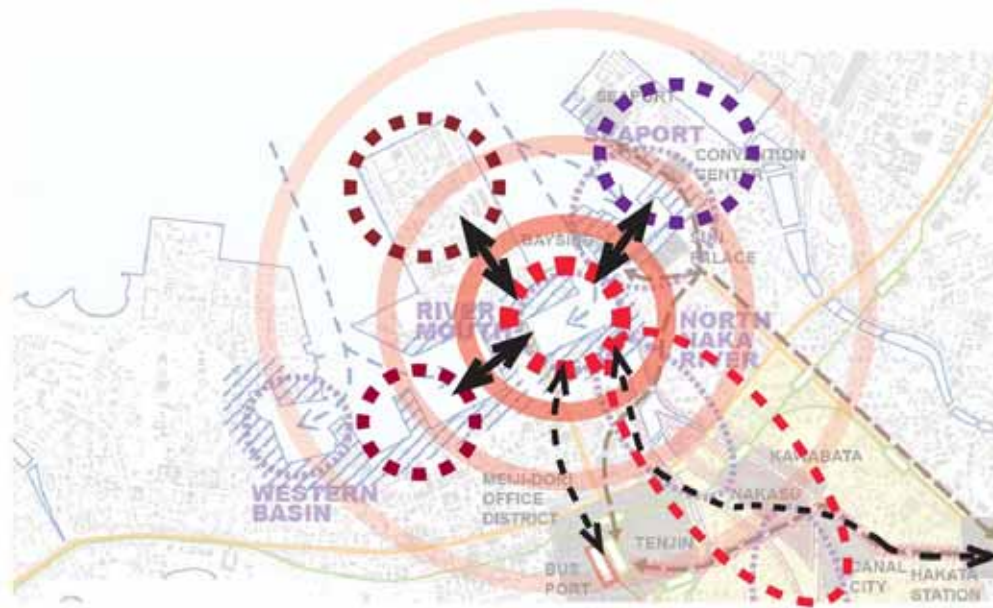
stadslab
urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
european urban design laboratory



Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
european urban design laboratory

stadslab
european urban design laboratory

Smart Fukuoka
www.stadslab.eu

MASTERCLASS

2012年10月6~13日

Fukuoka 2012 実務研修プログラム

都市交通とモビリティ

研修の特徴 | 郊外と都心の接続 | つながり、辿り着きやすさ、イメージの湧きやすさ、歩きやすさの追求 | 路面電車プロジェクト | 戦略的地域開発 | ロブ・ヴァンデルヴァイル (RVBD/Lightrail, nl取締役) による監修 | 8日間の国際実務研修 | 国際メディアでの成果物公表

Stadslab European Urban Design Laboratory is an established international think tank and design laboratory for urban design in today's European cities. Stadslab is the postgraduate program of Fontys Academy of Architecture and Urbanism.

T +31 (0)877 877 877 | info@stadslab.eu | www.stadslab.eu
Stadslab, European Urban Design Laboratory, Bechtel Zwaansloot 5
P.O. Box 9067, 3000 GJ The Hague, The Netherlands

Fontys
Academy of Architecture and Urbanism
Fukuoka D.C.

Fukuoka D.C.

Master Class Placemaking Fukuoka

stadslab
european urban design laboratory